

緊急時の保育、子どもセンターなどで活発に意見交換

市内の子育て支援グループ、マミーズネットの呼びかけで、同会と市議会議員との意見交換会が19日、行われました。

市議会からは6議員が参加、マミーズネットからの問題提起を受けて、上越市の子育てをどう支援していくかという視点で意見を交換しました。

問題提起では、特に0〜3歳の乳幼児のについて、保育園に入れられないのではないかと心配をしている保護者が多いこと、一時預かりを申し込んでも断られることがあることなどが指摘されました。また、保護者の病气や保育園の登園自粛など、緊急時にとっさに子どもを見てもらえる人や施設が見当たらないことも問題点としてあげられました。

マミーズネットは、こうした問題に関して、委託事業として行っているファミリーサポート事業や子育てEco事業で、支援者を紹介したり相談に応

じたりしているとのことですが、全市に十分周知できるまでには至っていない面もあるとのこと。

厚生産業会館に併設が予定されている「子どもセンター」については、マミーズネットは、「高田公園に作ることはともかく、今のこの時期に新築でこどものための施設ができることには期待している」とのことです。作るとなれば、建物ではなく、その中身が大事です。現在の「子どもセンター」の運営を引き受け、子育て支援の数々のノウハウを蓄積している同会の実践的な意見を生かし、運営方法を含めて本当に市民に役立つ施設にすることが重要であることが、共通認識になりました。

議員からは、「父親の役割をどう考えていくべきか」「一時預かりのニーズが広く市民全体のものではあれば、議員としても推進したい」などの意見が出されました。そして、上越市の子育て



支援制度の拡充に向けて、行政のチェックをさらに強めていくことを確認しました。
この会には、党議員団から平良木哲也議員が参加しました。

9月議会を前に焼き肉を食べ、市政を語ります

8月25日(日)午後3時から
頸城区の上野公悦議員宅前
「憩いの広場」にて

会費は1000円。
※上野議員が議会報告を行い、
橋爪議員団長も挨拶します。



春先に水不足が心配された稲作ですが、今週から刈り取りが始まります。豊作であってほしいですね。写真は柿崎区上直海です。

なんでも相談所 やってます

市政への要望や生活相談などお気軽にご相談ください。ご連絡は左の各議員までどうぞ。

記念講演が話題に



「躍進した理由がよくわかった。ぜひこれからも頑張ってもらいたい」「今回の選挙を契機にしっかりした土台作りを」—10日に開かれた日本共産党創立91周年記念講演会での志位委員長の記念講演が市内の党内外で話題になっています。

同講演では、「自共対決」の政党地図がいよいよ鮮明になったこと、“第3の躍進”の始まりともいえるべき歴史的意義をもつ今回の勝利を確信にして、安倍自公政権の暴走と正面から対決する野党としての役割をしっかりと果たすことなどが訴えられました。

また同講演会では、委員長の記念講演の前に、先の都議選、参院選の当選者が挨拶しました。元気いっぱい、笑顔いっぱいの吉良よし子さんや「中小企業と庶民の町・大阪出身の議員として、弱いものいじめの政治は許さない」と決意を語った辰巳孝太郎さんなどの挨拶を聞いた人たちは、「若い人が頑張るっていいね。大いに期待できる」と笑顔でした。

この講演会の模様は日本共産党のホームページで見ることができます。

日本共産党上越市議員団ニュース

No. 374 2013年8月25日

- 連絡先
- 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 - 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
 - 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)